

キルトジャパン

針休めの針仕事 2017年7月号 夏 170号

使いやすいコインケース

須藤修代

●用意するもの（基本形）●

パッチワーク用布…スクラップ布を使用

裏布…30×30cm

接着キルト綿30×30cm

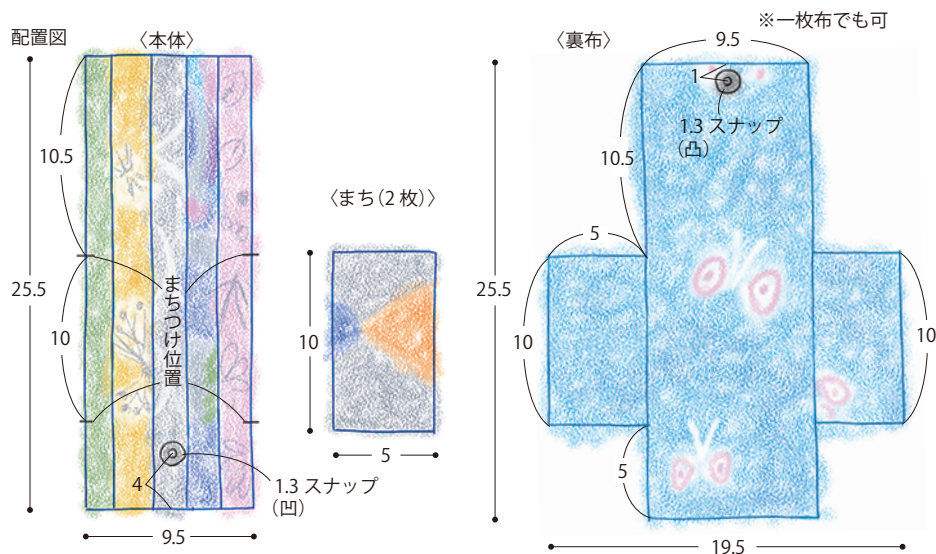
直径1.3cmスナップ1組

25番刺しゅう糸青 適宜



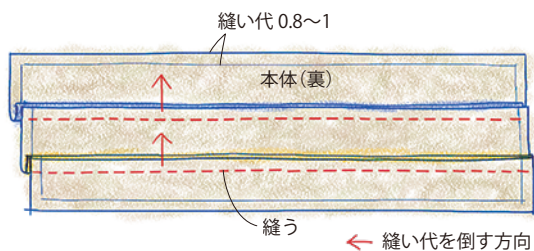
撮影／渡辺淑克
スタイリスト／井上輝美
イラスト／小池百合穂

*単位は cm

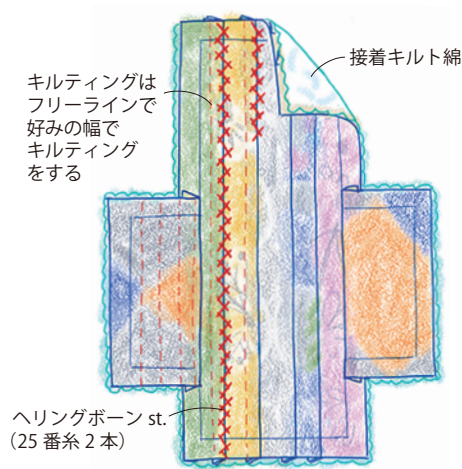
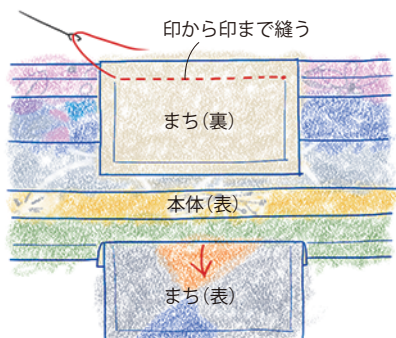


1 配置図を参照して本体と裏布を裁ち、本体部分のパッチワークをします。縫い代は片倒しにします。

3 2の本体のパッチワークした部分にヘリングボーンステッチをします。あら裁ちした接着キルト綿を重ねて好みの幅でキルティングをします。



2 まちを2枚、本体のまちつけ位置に合わせて縫い合わせます。縫い代はまち側へ倒します。



キルトジャパン

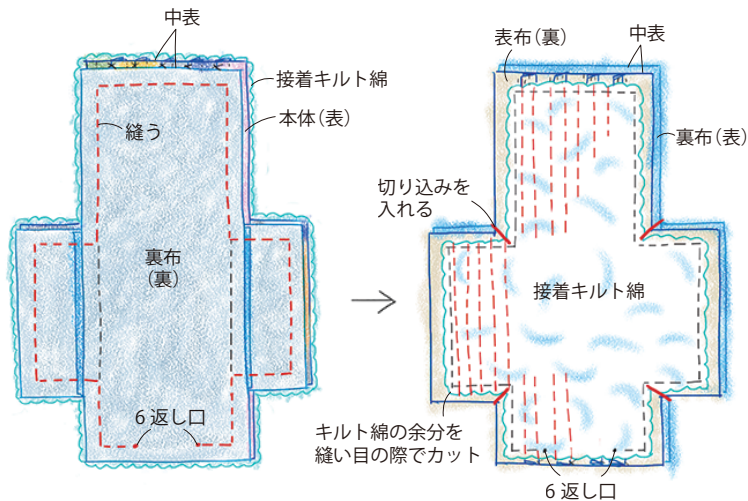
針休めの針仕事 2017年7月号 夏 170号

使いやすいコインケース

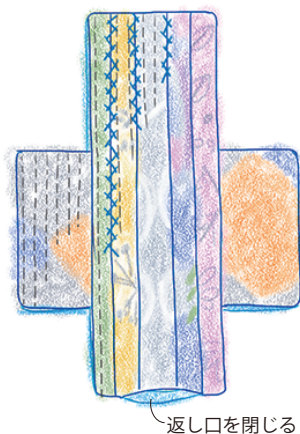
須藤修代



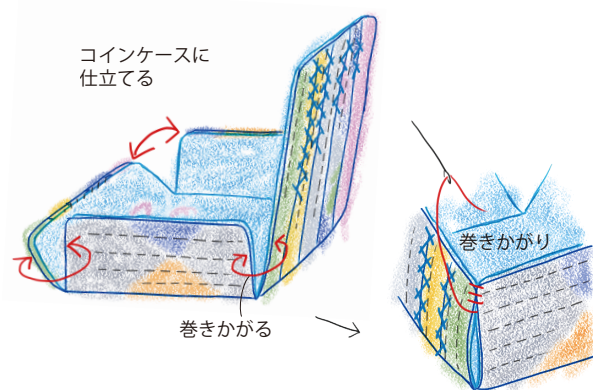
- 4 本体と同様にして裏布を作り、キルティングをした本体と中表に合わせ、返し口を残して周囲を縫います。
キルト綿の余分を切り落とします。



- 5 返し口から表に返して形を整え、返し口を閉じます。
当て布を当てキルト綿をアイロンで接着させます。



- 6 まちと側面を立ち上げてとなり合う辺同士を細かく巻きかがり、箱型に仕立てます。



- 7 まちを折りたたみ、ふた裏と、前側側面に縫い止めたスナップを止めてでき上がり。

